

## ワシントン州：小麦作柄と気象状況

2011年9月4日現在

概況 ワシントン州東部の2011年9月4日に終わる1週間の気象は、高温・乾燥気象であったが夜間の気温は低くなった。1週間の降水量は、州東部ではRitzvilleに0.03インチ、Pascoにて0.03インチ、Walla Wallaにて0.01インチの降雨が記録され、他の観測所ではゼロであった。最高気温はEC地区では90~97度Fであったが、最低気温は42~49度Fであり平均気温は平年を1~2度F下回った。SE地区の最高気温はPullmanにて87度Fであったが、他の観測所では91~95度Fであった。最低気温はPullmanにて34度Fを記録したが、他の観測所では43~50度Fであった。平均気温は平年を2~4度F下回った。1週間の州平年農作業稼働日数は6.9日(前週:6.9日)であった。Topsoil及びSubsoilの土壌水分は5年平均より良い状態が続いたが、前週より乾燥が進んだ。2011年産冬小麦は高温・乾燥気象が続き全州にて急速に進捗した。Stevens郡では収穫の最盛期となり、Whitman郡では最終段階となった。Lincoln郡では2011年産の収穫を終え、2012年産の播種が進められた。春小麦の収穫はLincoln郡では最終段階であるが、SE地区、NE地区では昨年より2週間遅れのペースで進んでいた。Asotin郡の春小麦の収穫は1~2週間先と予想された。作柄は前週より改善し良好と報告された。冬小麦の単収は昨年以上と予想されたが、春小麦は略平年並みと報告された。

SE地区のSoft White WheatのFN値はオレゴン産より高く314~318、タンパク質は9.1~9.7%(昨年平均:9.7%)、容積重は60.5~61.2 lbs/bu(昨年平均:59.6 lbs/bu)と報告された。Club WheatはFN値274~328(昨年平均:339)、タンパク質は8.5~9.0%(昨年平均:10.3%)、容積重は59.6~61.3 lbs/bu(昨年平均:60.0 lbs/bu)と報告された。

2012年産冬小麦の播種がEC地区の諸郡にて前週より開始され、9月4日現在全州の16%の圃場にて播種が完了した。降雨を待つ農家もあったが、概ね昨年並みの進捗であった。

### 2011年9月4日現在：土壌水分及び灌漑用状況(\*)

(%)		Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil	This week	10	46	44	0
	Last week	11	40	44	5
	5-Yr Ave.	22	41	37	0
Subsoil	This week	3	50	47	0
	Last week	2	41	56	1
	5-Yr Ave.	17	44	39	0
Irrigation	This week	0	2	96	2
	Last week	0	1	97	2
	5-Yr Ave.	1	6	93	0

### 2011年9月4日現在：冬小麦の生育状況(\*)

(%)	This week	Last week	Last year	5-Yr. Average
Harvested	88	77	96	97
2012 Crop Planted	16	5	17	15

### 2011年9月4日現在：春小麦の生育状況(\*)

(%)	This week	Last week	Last year	5-Yr. Average
Harvested	66	35	84	89

2011年9月4現在：春小麦の作柄状況(\*)

(%)	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week	0	3	33	52	12
Last week	1	14	35	46	4
Last year	NA	NA	NA	NA	NA

(\*) Source: Washington Agricultural Statistic Service, NASS, Oregon Field Office, 5-Yr Ave means average of past 5 years 2006,2007,2008,2009 and 2010 Crop year.

以上